

BreakThrough

～夢に向かって～

第9号

福島県立相馬高等学校第3学年
令和4年12月19日発行

2022年の締めくくり

あっという間に2022年も残りわずか。皆さんにとって、どんな年だったでしょうか。

先日、良い年の締めくくりができるようにと宮城県岩沼市にある竹駒神社にお参りに行ってきた。今、竹駒神社の花手水がとても気になっていて、時間ができると神社の花手水を見に行っている。花手水とは、神社やお寺にある手水舎の手水鉢に色とりどりの花を浮かべたものだ。今年の夏には、風鈴や風車などが境内の参道にたくさん飾られ半年の無事を感じ、残りの半年のさらなる除災招福を祈願する「夏詣」が開催されていた。手水舎にはたくさんのひまわりが浮かべられていてとても華やかだった。季節を感じられるおススメの神社だ。

話は変わるが、私は健康雑誌を読むのが好きだ。2週間で気になる二の腕もスッキリ!なんて書いてあると、2週間で何とかなるなら今じゃなくてもいいかと思えて気が楽になる。

毎日の積み重ねや苦手なこともやってみることが大事だと他人には言っているけど自分はなかなか実践できない。しかし、寒くなってきて余計に体を動かしたくなくなってきたせいか、気分もすっきりしないので、図書室で崎田ミナ著『自分の手でときほぐす!ひとりほぐし』(日経BP、2021年)を借りてきた。イラストがたくさん描かれていて説明もわかりやすいので、気になった部分からすぐ実践できるような内容だ。

「親指と人差し指で頭頂部をつまめる?本来なら頭皮もおでこと同じくらい、つまめるもの…硬くて動かない、つまめても痛かったり、にぎりこぶして押して痛かったりするの凝りのサイン。逆に頭皮の弾力がなくぶよぶよしているのはむくんでいるサイン。頭皮は、皮膚と筋膜で全身とつながっているの、頭皮をほぐすと全身の緊張とたるみが取れる!」

とあった。同じ姿勢でいる時間が多い時、受験勉強でちょっと一息ついたときに、頭をマッサージすると疲れが取れるだけでなく良いことがたくさんありそう。また、手には全身の反射区があるので、気づいたときに手をマッサージするだけでも体のケアができるらしい。

卒業後の進路が決まった人も、これから試験を受ける人も、残り少ない高校生活を有意義に送って欲しい。2022年の締めくくりの私の御神籤には「成功への近道はない」とあった。小吉だったので引き直しをしたけれど、2つ目もまるっきり1つ目と同じ内容だった。何をやっても続かない私は来年こそこの言葉を心にとめて、過ごしていけたらいいなと思う。

(4組副担任 馬場 藍)

1月の行事予定

4日(水) 仕事始め
5日(木)~6日(金)

共通プレテスト(Kパック)

12日(木) 共通テスト激励会(講堂)

13日(金) 午前中授業

14日(土)~15日(日)

大学入学共通テスト@原町高校

16日(月) 自己採点

講演会(未受験者)

17日(火)~20日(金)

午前中授業

20日(金) 出願先検討会議

21日(土)~22日(日)

二次試験に向けた三者面談

23日(月) 午前授業(大掃除、学年集会、LHR)

24日(火) 自宅学習開始



いよいよです!

共通テスト以降のスケジュール

試験日	出題教科・科目	試験時間
1/14 (土)	地理歴史 公民	「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 2 科目選択 9:30～11:40
		「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 1 科目選択 10:40～11:40
	国語	『国語』 13:00～14:20
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 【リーディング】 15:10～16:30
『中国語』『韓国語』 【リスニング】 『英語』のみ 17:10～18:10		
1/15 (日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 9:30～10:30
		「生物基礎」「地学基礎」
	数学②	「数学 I」「数学 II・数学 A」 11:20～12:30
		「数学 II」「数学 II・数学 B」 『簿記・会計』 『情報関係基礎』 13:50～14:50
理科②	2 科目選択 「物理」「化学」 15:40～17:50	
	1 科目選択 「生物」「地学」 16:50～17:50	

1月14日(土)～15日(日)

正解等の発表

1月16日(月)

自己採点→点数を予備校等に送る

1月17日(火)～19日(木)

クラスごとに面談して出願先を検討

1月18日(水)

平均点等の中間発表

予備校からデータが担任に送られてくる

1月20日(金)

出願先検討会議

1月21日(土)～22日(日)

二次試験等に向けた三者面談

1月23日(月)～2月3日(金)

国公立大出願

2月6日(月)

平均点等の最終発表

入試に関するQ&A

Q1 もし病気や怪我等で共通テストが受験できなくなったら？

A1

事故や病気などのアクシデントが起きた場合は、受験者本人または代理人が、速やかに「受験票」に記載されている「問い合わせ大学」に連絡をして、申請すれば追試験を受けることができる。申請の受付時間、詳しい方法等については、受験票・写真票等と一緒に送付されている「受験上の注意」に明記されている。なお、2023年度の追試験は、1月28日(土)、29日(日)に実施予定。

Q2 共通テストの得点調整とは？

A2

共通テスト終了後、大学入試センターでは、各教科で選択科目ごとに平均点を算出する。その平均点に原則として20点以上の差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められた場合には、平均点が低い科目を受験した受験生が不利にならないよう、得点差を調整する。なお、2023年度共通テストの得点調整実施の有無の発表は、1月20日(金)の予定。

Q3 国公立大の出願はいつ行うのか？

A3

国公立大の出願は、1月23日(月)～2月3日(金)の間に行う(一部異なる日程の大学あり)。出願する可能性がある大学の願書は、当然それまでに取り寄せておかなければならないので、早めの準備が必要である。また出願大学決定には、自己採点結果が唯一の手がかりとなる。

Q4 「志願倍率」「実質倍率」の違いとは？

A4

ひとくちに倍率といっても「志願倍率」と「実質倍率」の2種類がある。「志願倍率」とは、「志願者数÷募集人員」のことで、志願者とは実際に大学に出願した人のこと。「志願倍率」は、大学の人気度が分かる。対して「実質倍率」は、「受験者数÷合格者数」のことで実際の試験での競争率が分かる数字である。

Q5 大学は何校まで出願できるのか？

A5

国公立大一般選抜の場合、前期・中期・後期の各日程から1つずつ、最大3つの大学・学部への出願が可能。また、私立大などは日程が重ならなければ出願に制限はない。

Q6 「二段階選抜」とは？

A6

一部の国公立大で行われる選抜方法のこと。個別学力検査の前に共通テストの成績などにより第一段階選抜が行われ、合格者のみが個別学力検査を受験することができる。志望校が二段階選抜を行うかどうか確認する必要がある。